

いう、すべての要求性能を満たした画期的なものである。

浴中マッサージャ BM-31

新しい家電品の一つとして開発した浴中マッサージャ“日立バープ” BM-31形は昭和43年8月より生産し、市場にて非常に好評を博している。この浴中マッサージャは付属の取付板を浴槽に取り付け、ポンプの噴流作用により、無数の空気泡を含んだ噴流を発生する。この噴流水により浴中にて身体のマッサージを行なうと、超音波泡の効果により新陳代謝を活発にし、疲労回復、健康保持、美容効果に威力を発揮する。また、この製品は浴室で使われるため、感電に対する安全性には、絶縁トランス、低電圧駆動モートルの採用、外装のオールプラスチック化など、幾重にも安全策を施した設計になっている。

全自動冷蔵庫

庫内温度の微小な変化を直接キャッチできる高性能温度調節器<サーモレーダー>を開発し、これにより年間を通じて庫内を一定の温度(2℃)に維持するとともに、大量の食品を入れても、夏場にドアをひん繁にあけたとしても庫内温度を2℃にもどるまでスピード冷却を可能とする画期的な全自動冷蔵庫を開発した。

さらにフリーザはコールドチェーン時代に対処し、容積をたっぷり10 lとり、温度は西欧諸国で採用しているISO規格に準拠し最高級のスリースターの特性(フリーザ食品温度が-18℃以下)を有している。

またデザイン面では従来の冷蔵庫に見られるツマミやボタンが外部に出ていないノータッチの冷蔵庫で、シャンツエラインのもつスピード感のイメージを映して、画期的な冷蔵庫にふさわしいデザインを採用した。

ルームクーラ

ルームクーラでは家庭用の急速な伸びに対して、部屋に豪華なふんい気をもり上げるクールウッドシリーズを小形の1,600 kcal/hより大形の4,500 kcal/hまで12機種シリーズを完成した。そのほか日立製作所の技術が生んだ独特のドライタイプ、伝統美を生かした2200穂波、日本の家屋に最適なスプリット機種の増加など機種の充実にあわせて、さびにくいさび止め塗装、ホコリが付きにくい帯電防止加工、騒音低下の特殊構造などすぐれた新技術、新材料を採用している。

暖房給湯機器

最近、セントラルヒーティングに対する関心が高まり、家庭用の温水機、暖房機が急速に普及しつつある。新開発のファミリーボイラ、オイルファーンレスは、顧客の要望に適合したものととして好評である。グラスライニング仕上げの熱交換器を使用したBO-170形ファミリーボイラは、清潔な湯を供給する特長を持ち、出力が17,000 kcal/hのポット形バーナを使用しているため、静粛な運転で全自動の画期的な製品である。BO-320形ファミリーボイラは、グラスライニング仕上げの熱交換器に給湯専用コイルを内蔵し、日立製作所が開発した特殊ガンタイプバーナを備えている。出力は暖房側30,000 kcal/h、給湯側29,000 kcal/hで、角形デザインの独特な製品である。オイルファーンレスOF-80は、出力が8,000 kcal/hであり、ダクト取付可能な全自動形で、家庭用温風セントラルヒーティングを可能にしたわが国初の製品として好評を博した。

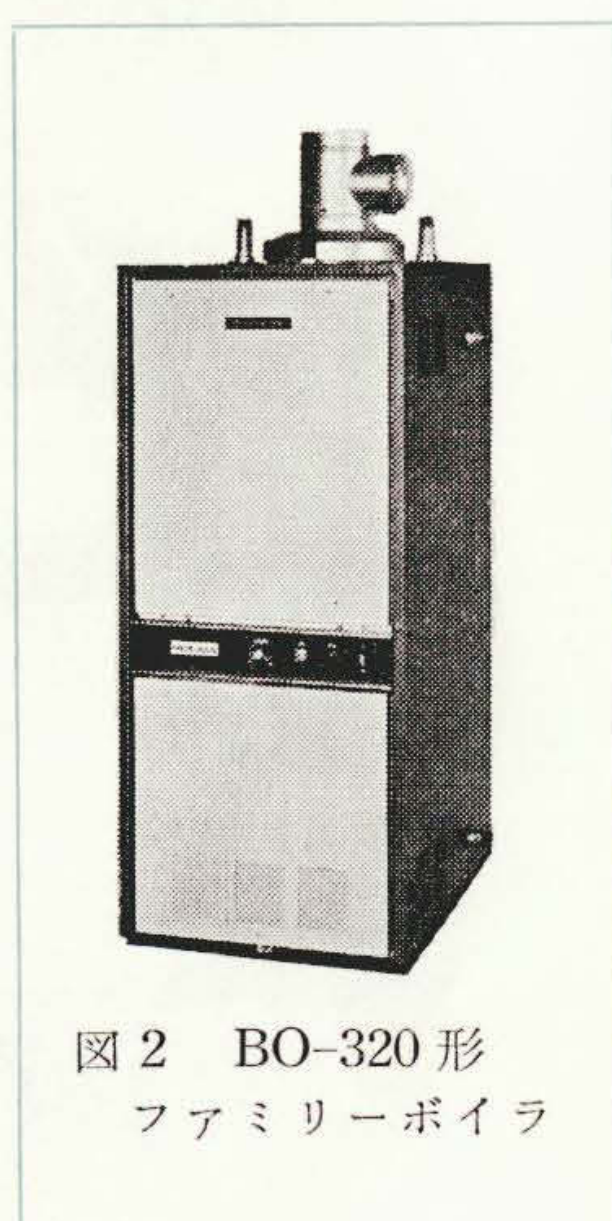


図2 BO-320形ファミリーボイラ

住 宅 機 器

日立浄化槽ハイパッキ新形およびヒタチトイレ

円板駆動用に低速モータを使用し、減速機構をシンプルにした新形日立浄化槽ハイパッキが完成した。新形は使用電力料が低減され、維持管理が容易であり、かつ円板カバーの改良により従来より水のかくはんによる騒音を低減することができた。また、ろ過装置には目づまりが少なく、清掃の容易な新方式を採用するなど数多くの改良も行なわれ、従来より維持管理が容易な構造となった。地表面に出るモータカバーを小形にして取り扱いを容易にした。

ヒタチトイレは従来の横形300 l〔Y-302〕とは異なった形式のT-302〔縦形300 l〕、T-602〔縦形600 l〕の2機種を開発した。これは悪臭が少なく、虫が上がらない、工事がしやすいなどの特長をもつ新しいタイプの組立式便槽である。

かま付浴槽、ホームバス HM-125 形および薄形ボイラ HBU-22 形

ホームバス HM-125 形は、普及形浴槽日立ホームバス HM-110 形に上面操作式コンパクト設計のボイラを組み込んだ製品で、ポリプロピレン射出成形浴槽本体、耐食アルミ合金の外装板、アルミロールポンド製熱交換器、ステンレスプレスバーナなど、量産性と耐久性にすぐれている。ボイラ付き全長960 mmで狭い浴室にも設置できる、独自の断熱構造により、かま部外壁、排気筒表面温度が低い、ガス開閉用つまみ、点火確認用のぞき窓、圧電式点火装置をかま上部に設けている、などの特長を備えている。ボイラ HBU-22 形は幅170 mmの薄形、コンパクト設計で狭い場所に設置でき、使いやすい上面操作式である。ホームバス HM-125 形同様、ガスコック開閉装置は安全確実な2段階操作によりパイロットバーナ、メンバーナを点火、消火する独特の構造をもっている。また筒形のぞき窓、圧電式点火装置などとともに操作部分をすべてかま上部に設け、取り扱いが容易である。

日立流し台ハイライン E 形および G 形

従来、大半の流し台間口寸法は、10 cm モジュールであった。これをハイライン E 形では、建築寸法を考慮し検討の結果、基準寸法を、32, 35 cm の2種類とし間口寸法をこの倍数値に定めることで部材寸法を統一し、製品の標準化を図った。これにより流し台、調理台、ガス台の3点セットで100組以上の間口寸法の組合せが得られた。機能面では、従来単なる水跳返り止めであったバックガードを、トップテーブル式として、調味料、洗剤、スポンジ、コップなどの小物を置くのに便利な構造とした。このバックガードを取りはずし式として輸送の際にはキャビネットに収納することで、輸送事故の低減を図ることができ、また荷造輸送費の低減にもなった。上記に、トップ材質 SUS 27、流し台に収納できるワゴン、キャビネット底板ステンレス、ガスキャビネットなどの特長を加え、高級形の G 形とした。この G 形においても付属部品類は E 形と共通である。

新形バスユニット

建物の高層化に伴い、建物の軽量化と納期の短縮が強く要求されているが、これら業界の要望に答え、コストダウンにより需要の増大を図る目的で、一連の新形バスユニットが開発された。本品は住宅用(UJ形)、ホテル用(UH形)に大別され、UJ形には20種、UH形には4種の標準形が用意されている。いずれも床部分はFRP(強化プラスチック)による「仕上面防水」という日立化成独特の防水方式が採用されていること、壁面は従来の化粧板に換え、不燃化量産性の目的からアクリル樹脂焼付鋼板のプレス加工品が使用されていること、すべての部品がユニット内部から取りはずされ、保守が容易であること、従来品に比べて軽量化されていることなどの特長を有している。